

みずほCustomer Desk Report 2019/02/06号(As of 2019/02/05)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	110.03
TKY 9:00AM	109.98	1.1436	125.78	GBP/USD	1.3034
SYD-NY High	110.04	1.1440	125.86	AUD/USD	0.7265
SYD-NY Low	109.77	1.1401	125.30		0.7194
NY 5:00 PM	109.97	1.1406	125.43		0.7236
NY DOW	25,411.52	172.15	日本2年債	-0.1700	0.00bp
NASDAQ	7,402.08	54.55	日本10年債	-0.0200	▲1.00bp
S&P	2,737.70	12.83	米国2年債	2.5263	▲1.11bp
日経平均	20,844.45	▲39.32	米国5年債	2.5159	▲2.02bp
TOPIX	1,582.88	1.55	米国10年債	2.7028	▲2.16bp
シカゴ日経先物	20,935.00	45.00	独10年債	0.1690	▲0.60bp
ロンドンFT	7,177.37	143.24	英10年債	1.2280	▲4.75bp
DAX	11,367.98	191.40	豪10年債	2.2420	2.65bp
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	6.10	▲0.16%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	6.82	▲0.14%
NY金	1,319.20	▲0.10	USDJPY 6M Vol	7.40	▲0.09%
WTI	53.66	▲0.90	USDJPY 1M 25RR	-0.83	Yen Call Over
CRB指数	179.95	▲0.66	EURJPY 3M Vol	7.25	▲0.18%
ドルインデックス	96.07	0.22	EURJPY 6M Vol	7.85	▲0.09%

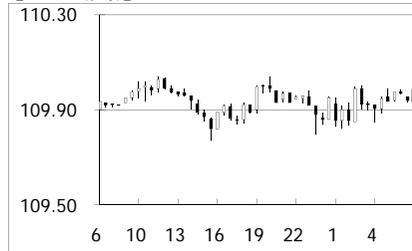
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月5日	09:30	豪 貿易収支	12月 A\$3681m	A\$2225m
	09:30	豪 小売売上高(前月比)	12月 -0.4%	0.0%
	12:30	豪 RBAキャッシュレート	-	1.5%
	17:55	独 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)・確報	1月 53.0/52.1	53.1/52.1
	18:30	英 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)	1月 50.1/50.3	51.0/51.4
	19:00	欧 小売売上高(前月比)	12月 -1.6%	-1.6%
	23:45	米 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)・確報	1月 54.2/54.4	54.2/-
2月6日	00:00	米 ISM非製造業景況指数	1月 56.7	57.1

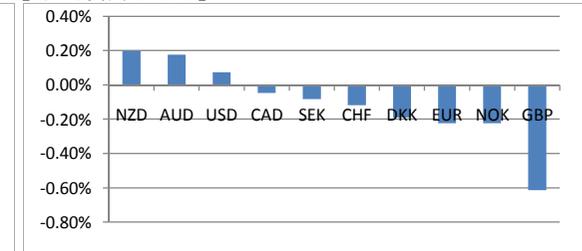
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月6日	10:30	豪 ロウ豪中銀総裁 講演	-	-
	11:00	米 トランプ米大統領 一般教書演説	-	-
	16:00	独 製造業受注(前月比)	12月 0.3%	-1.0%
	17:30	独 マークイット建設業PMI	1月 -	53.3

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.50-110.50	1.1350-1.1450	124.80-126.30

【マーケットインプレッション】

昨日のドル/円相場は特段材料が無い中、109円台後半をメインとした小幅のレンジでの推移となった。本日のドル円はトランプ米大統領の一般教書演説に注目したい。メキシコとの国境の壁建設費用を巡る問題で非常事態を宣言することは見送られる見通しとなっている。2月15日には政府機関閉鎖を回避した暫定予算の期限を迎えることから共和党と民主党間での融和を図る演説になると思料。演説後は株高を伴ってドル円は上昇する可能性が高いか。

東京	東京時間、109.98レベルで取引を開始したドル円はトランプ米大統領とパウエルFRB議長が経済見直しについて協議したとのヘッドラインが出るも市場の反応は限定的。その後、ドル円は高値110.04円まで上昇するも、上値を追い続けていく展開とはならず、109.89レベルで海外に渡った。一方、豪ドルは豪12月小売売上高が予想対比悪化したことから0.72台前半から0.7194まで下落。その後、豪準備銀行(RBA)が政策金利の据え置きを発表。市場参加者は声明文などでハ派へのシフトを予想していたものの、堅調な経済成長と失業率の低下がインフレ加速や金利上昇に繋がるか強気の姿勢を崩さなかったことから豪ドルは0.7265まで大きく上昇し、0.7260レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は109.89レベルでオープン。目立った材料が無かったものの、堅調に上昇し、再度高値110.04までを試す動きも見られたが、結局109.96レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.3041レベルでオープン。LDN早朝はじり安推移となったが、英国1月サービス業PMIが予想値の51を下回る50.1となったことにより、1.2996まで売られる。その後は、1.30台を復帰し、結局1.3008レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は再び110円台を回復する場面も見られたが、日経平均株価がマイナス圏に沈むと上値が重くなり109.77まで反落し、109.96レベルでNYオープン。NY朝方は米金利の低下を手掛りに109.80まで下落。その後109.95まで戻すが、米1月ISM非製造業景況指数が予想を下回ったことから109.82まで反落する。NY午後にはカプラン・ダラス連銀総裁が金融政策に関する文章を発表したが、目新しい内容はなく、ドル円の反応は限定的だった。110円ちょうどをつける局面もあったが上抜けはできず、NY終盤はそのまま109.90辺りで方向感なく推移し、109.97レベルでクローズ。NY時間はわずかに20銭の値動きで終始。一方、伊1月サービス部門PMIが予想を下回り伊列経済への不安が強まる中、海外市場のユーロドルは1.1412まで下落。その後、関係者の話として「次期総裁が決まるまでトランプECB総裁はガイダンスの変更には消極的になっている」と報道されるが、ユーロドルは反応薄で、1.1421レベルでNYオープン。NY朝方は米金利の低下を横目に1.1434まで上昇。その後、戻り売りに押され1.1401まで下落するが、節目の1.1400レベルがサポートとして認識されたことから反発。新規の取引材料が見当たらないほか、NY午後9時からトランプ米大統領の一般教書演説を控え、様子見ムードが強まる中、1.1406レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:田家